

# 全世帯新聞

- 第 17 号 - 2026 年 1 月発行

愛知学童保育連絡協議会（名古屋市熱田区沢下町 9-7-308）

TEL : 052 - 872 - 1972

FAX : 052 - 308 - 3324

e-mail : [aichigakudou@gakudou.biz](mailto:aichigakudou@gakudou.biz)

URL : <http://gakudou.me/>



各 SNS の QR コード



愛知県連協では、県連協ホームページを随時更新し、それにあわせて上記の SNS で情報発信を行っています。LINE ではオープンチャットを使い情報発信をしています。

## CONTENTS

p.1 “県連協会長所感”

p.2～3 “主な部会などの紹介”・書籍紹介

p.4 “地域学童紹介”（瀬戸）・四コマ漫画

## 五七年目を迎えて

（県連協会長）

### ご挨拶

今年度から会長になりました、藤田です。名古屋市瑞穂区のあさがお学童の保護者 OB です。子ども 3 人が学童に通いました。現在では、一番上は社会人、一番下が高校生という構成で、私はまもなく 50 歳になります。のほほんと役員をやってきたため県連協についてはわからないことばかりですが、なってしまうからには会員の皆様のため、そして県内全域の学童保育のために尽くしていきたいと思っています。県連協役員の皆さん、そして、各地域の運営委員の皆さんの力を集めて、学童保育の質の向上を図りたいと思います。

### 県連協の位置付け

さて、市町村事業である学童保育について、県連協はどのような位置づけにあるべきでしょうか？まずは、県内各市町村の橋渡しをすることが大切であると考えています。定期的な運営委員会の場をベースに、研究集会や学童はいく

## 学童保育は子どもの放課後の最善の利益

ひろばなど、イベントを行うことで、閉鎖的になりがちな各地域をつなぐことができると思います。日ごろから連携をとることで、自然災害や事件、事故の際の助け合いにもつながってくると信じています。

また、各地域連協が市町村に要望を出すのと同様に、県に対しては県連協からの働きかけを行っていきます。そして全国連協を担う一員として、全国連協の活動、国への働きかけも協力していきます。全国連協との関連でいえば、「日本の学童はいく」誌の普及拡大活動に取り組み、全国連協を資金面でも支えていきたいと思っています。

### 今後のテーマ

取り組んでいくテーマとしては、指導員不足解消のための指導員の処遇改善、全児童対策や営利企業参入による保育の質の低下への対処、これらを実現するための愛知県議会における学童保育議員連盟

の早期設立、などを重点的に取り組んでいきたいと考えています。さらに、私個人の思いとしては、「子どもの権利条約」を県内全域にしっかりと広めて、学童保育は子どもの放課後の最善の利益を実現する場であることを忘れられないようにしたいと考えています。

### あるべき姿

最後になりましたが、指導員も保護者も学童保育の「あるべき姿」を自分たちできちんと考え、実施主体である市町村に伝え、子どもの最善の利益が守られる学童保育を、県内全域で実現していきたい。微力ながら務めますので、皆様もご協力のほどよろしくお願いいたします。



藤田裕久（県連協会長）  
名古屋市瑞穂区保護者 OB



## ◆えがおPT

東日本大震災後、学童保育支援を目的に2012年に発足。被災地への支援・視察や指導員派遣を行い、能登半島地震でも活動。安全計画や危機管理マニュアルの情報提供、研修・アンケートを通じ「備え」を強化。今後、南海トラフへの対応も視野に、地域との連携を深めていきます。ぜひ、LINEオープンチャット【防災】あいちの学童にご参加ください。（下記二次元コードより）



## ◆あいち学童保育研究会事務局

毎年3月第1日曜に開催されるあいち学童保育研究会と実行委員会を企画運営するため、6月から翌3月の“期間限定”で、愛知県連協と名古屋市連協の役員が月1回集まって活動しています。年に一度、学童保育に関わる皆さんが交流&共感して、「学童っていいね!」と改めて感じ、気持ちも新たに新年度を迎えてもらえるような場を、地域や実行委員の皆さんと一緒に創り上げていきます。ご興味のある方は事務局に遊びにきてください!

## ◆全国指導員学校PT

全国学童保育連絡協議会が主催する学童保育の研修会です。2025年度で第50回を数え、全国8会場（北海道、東北、北関東、南関東、西日本2会場、四国、九州）で毎年1回開催されます。愛知は、岐阜、三重、滋賀、京都、石川とともに西日本会場の1つを担当しています。午前の全体講座は学童保育の研究からの講義、午後は基礎、理論、実践などの講座に分かれて学びます。学童保育指導員の専門性を高める、質の高い学びを得ることができます。

## □書籍紹介

いかだ社より、学童期の遊びを学童保育から「あそび・遊ぶ・あそべ・遊ぶ!」の本が10月25日から販売されています。監修は愛知県連協の専任職員の賀屋哲男さん、北海道から沖縄まで学童保育指導員を中心に、15の遊びを紹介し、研究者からの遊びへの応援が書かれています。県連協でぜひご購入を♪♪（詳しくは、下記二次元コードよりご確認ください。）



「あそび・遊ぶ・あそべ・遊ぶ!」を読んで

あそびの本が大好きな私は、この本の発刊を楽しみにしていました。あそびの本の中に載っているあそびを見ていると、いつも子どもたちと一緒に遊ぶことを頭の中でシミュレーションします。そして、子どもと一緒に楽しんでいる様子がシミュレーションできると、子どもたちに「ねーねー、これ一緒にやってみない?」と声をかけて遊んでいます。

この『あそび 遊ぶ あそべ 遊ぶ!』の本の中には、知っている遊びもあれば、「え?これなに?おもしろそう!」と初めて知る遊びもありました。まず、やってみたのは『バケツ野球』。近隣の住宅にご迷惑にならないようにするのと、またなかなか公園にも遊びに行けないので、この『バケツ野球』は、小さい庭でこぢんまりとできて、小さいボールを

当てることができない子もバケツのフタなら当てる事ができるので、どの子でもできて楽しめるのが良いです。室内の遊びでは『サイコロゲーム』をやってみました。サイコロを器の中に振り入れる単純な遊びなので、誰でもできる遊びでおもしろい!いつも一緒に遊ばない子と一緒に楽しめるのも遊びの醍醐味だなあと思います。子どもたちと楽しんで遊びました。

他にも「これ、みんなでやってみたいなあ」という遊びもたくさんありますし、子どもたちも手に取って見られる場所に置いてあるので、「これ、どうやってやるの?」「これ、おもしろい?」と興味津々で見えています。

この本に載っている遊びは、少しずつ小出しにしながら子どもたちといっぱい楽しんでいきたいと思っています。（県連協役員）





## 地域学童紹介

瀬戸市では、27の放課後児童クラブ（学童保育）があり、その中でNPO法人「こどもの杜」が運営する14か所が2024年度から県連協に加盟しています。今回は、その一つである流れ星児童クラブにお邪魔して、お話を聞いてきました。なおインタビューには、指導員歴15年になる坂野指導員に対応いただきました。



左から、幡山東児童クラブの藤林指導員（あやなちゃん）、宝島児童クラブの勝原指導員（かっちゃん）、流れ星児童クラブの坂野指導員（ひでさん）

### 最近の出来事は？

社会問題化している一連の盗撮事件を受けて、学童保育所内における指導員のスマホの扱い方を見直しました。放課後の子どもたちの安全な生活の場を守ること、保護者が安心して働くことができる運営体制を整えていくのも指導員としての役割と思っています。

### 年間のイベントは？

一番大きなイベントとしてキャンプ、それに向けての合宿、お出かけ、七夕、ハロウィン、クリスマス会など年間では計画を立てて、子どもの心と身体が成長できるように活動と遊びを行っています。毎月の保護者会

では、各イベントの様子を報告すること、保護者との交流にもなっています。



流れ星児童クラブの様子

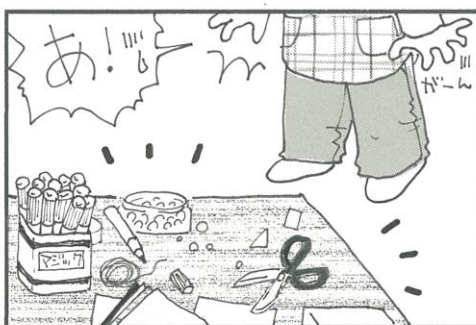
### 大切にしていることは？

「今の時代だからこそ、遊びを通じて学童保育での子ども同士が楽しく、また指導員も楽しく過ごせることを大切にしています。そして縦と横の繋がりを重視しながら、これからは指導員を続けていきたいと思っています。」と語ってくれました。

○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ●

県連協では、加盟する学童や地域連協と連携し、情報共有や交流を行い、運動の発展に繋がっています。坂野指導員とも、そんな交流の中で知り合い、今回の地域学童紹介となりました。（県連協広報部会）

## プレゼントとおたづね



♡ チャコ作 ♡